

令和6年度 港区運営方針

(所属長 : 山口 照美)

「目標」「使命」及び「所属運営の基本的な考え方」	
目標	暮らして楽しい・遊んで楽しい・働いて楽しい 「未来と世界にひらくまち・港区」の実現
使命	<ul style="list-style-type: none"> 2025年大阪・関西万博の開催を契機として湾岸部への注目度が高まるなか、地域資源を活用して港区の魅力を国内外に発信し、にぎわいの創出や地域の活性化を図るとともに、人口増をめざす。 港区は、湾岸部と都心部をつなぐ交通結節点として、新たな価値や面白さを創造し再発見するまちづくりや、水辺の特性や公園などのポテンシャルを活かした快適で災害にも強い居住環境を創造するまちづくり、また、多世代交流や多文化共生のまちづくりにより、ひとりも取りこぼさない「港(みんなと)マインド」で、「未来と世界にひらく」持続可能なまちづくりをめざす。
令和6年度所属運営の基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> 2025年の大阪・関西万博開催及び港区制100周年を見据え、湾岸部と都心部をつなぐ交通結節点として、区内の地域資源を最大限に活用し魅力発信するとともに、次の施策を5本の柱として重点的に取り組む。 1. 区民主体のまちづくり 2. 安全・安心・快適なまちづくり 3. だれもが健やかにいきいきと暮らせるまちづくり 4. 「まちぐるみで子育て」と「多様な学び」を応援するまちづくり 5. 訪れたい魅力と活気あふれるまちづくり

重点的に取り組む経営課題							
経営課題1 区民主体のまちづくり							
		4決算額	909百万円	5予算額	2,541百万円	6予算額	79百万円
課題認識	<ul style="list-style-type: none"> 少人数世帯・高齢単身世帯の増加などの社会環境の変化、ICT進展などによる個人の生活様式や価値観の多様化などにより、人と人のつながりが希薄となる中、地域福祉や防災等の地域課題も多様化していることから、身近な地域の中で生活課題などの解決に住民どうしが協力して取り組むことができる豊かなコミュニティづくりが必要である。 各地域の全住民を対象として様々な地域団体により構成された地域活動協議会による活動は地域課題の解決や地域の活性化につながることから、地域活動協議会による自律的、持続的な地域運営及び多様な活動主体間の連携について地域実情に応じて支援をする必要がある。 生活課題の解決に加え、緊急時や有事の際の災害支援活動等に対応できる地域コミュニティの維持、推進が重要となる一方で、その基盤とも言える町会等における加入率低下や担い手の不足などの課題が生じている。 						
主な戦略 (課題解決の方策)	<ul style="list-style-type: none"> 人と人が出会いつながる機会と場の提供 地域活動協議会の自律的運営の支援 地域課題解決に向けた取組の支援 地域活動協議会の認知度向上のための支援 						
アウトカム 指標 (経営課題の解決に向けた進捗割合を示した指標)	<ul style="list-style-type: none"> 区民モニターアンケートにおいて、「お住まいの地域では日頃からご近所どうして「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」が行われていると感じる」と回答した割合を8年度末までに55%以上にする。(6年度:52%) 区民モニターアンケートにおいて、「地域運営にさまざまな活動主体が参画し、地域が一体となって自律的に運営されていると感じている」と回答した割合を8年度末までに85%以上にする。(6年度:79%) 						
アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	6年度実績と達成状況 ※A:達成 B:未達成				前年度実績		
	区民モニターアンケートで「お住まいの地域では日頃からご近所どうして「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」が行われていると感じる」と回答した割合:46%				B	45.0%	
	区民モニターアンケートで「地域運営にさまざまな活動主体が参画し、地域が一体となって自律的に運営されていると感じている」と回答した割合:72.9%				B	47.3%	

経営課題2 安全・安心・快適なまちづくり							
		4決算額	4百万円	5予算額	5百万円	6予算額	7百万円
課題認識	<ul style="list-style-type: none"> 自助・共助・公助の役割分担のもと、大規模災害時に迅速かつ的確な対応が行えるよう区の特性を踏まえ、大阪・関西万博開催を見据えた防災対策を強化するとともに、区民の防災意識をさらに高め、地域防災力を強化する必要がある。 警察や地域、関係機関等と連携し、区民の犯罪被害を防止するための普及・啓発活動や犯罪の発生状況に応じた防犯対策を実施する必要がある。 誰もが安全、快適に移動できるよう、バリアフリーの取組など生活環境の向上と改善を図る必要がある。 						
主な戦略 (課題解決の方策)	<ul style="list-style-type: none"> 地域防災力の強化 防犯対策の強化 バリアフリー、回遊性向上の推進 						
アウトカム 指標 (経営課題の解決に向けた進捗割合を示した指標)	<ul style="list-style-type: none"> 区民モニターアンケートにおいて、「災害時に地域で助け合うことができると思う」と回答した割合を8年度末までに70%以上にする。(6年度：65%) 「区内の街頭犯罪発生件数」を8年度末まで毎年度継続して前年以下にする。(4年実績：253件) 						
アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	6年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成				前年度実績		
	区民モニターアンケートで「災害時に地域で助け合うことができると思う」と回答した割合：56.6%				B	53.3%	
	区内の街頭犯罪発生件数：350件 (ただし、令和6年1月～12月)				B	289件 (ただし、令和5年1月～12月)	

経営課題3 だれもが健やかにいきいきと暮らせるまちづくり							
		4決算額	23百万円	5予算額	25百万円	6予算額	30百万円
課題認識	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな生活課題を抱えた高齢者など、支援を必要とする人も地域で安心して暮らせるよう、地域に関わる多様な活動主体が協働して、地域社会全体で支えていく取組を促進する必要がある。 児童虐待を未然に防止するためには、妊娠期から出産、学齢期まで切れ目なく虐待ハイリスク家庭を早期に発見し支援につなげる必要がある。 生活習慣病の予防や疾病の早期発見のためには、区民の主体的な健康づくりや受診率の向上を促進する必要がある。 近年、いわゆるヘイトスピーチが各地で行われ社会問題化しており、多様な価値観を認め合う多文化共生の地域づくりを進める必要がある。 						
主な戦略 (課題解決の方策)	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉の推進 セーフティネットの充実 健康づくりに向けた意識啓発と担い手づくり 多様性を尊重しあう共生社会づくりの推進 						
アウトカム 指標 (経営課題の解決に向けた進捗割合を示した指標)	<ul style="list-style-type: none"> 区民モニターアンケートにおいて、「身近な地域福祉活動が活発に行われている」と答えた割合を8年度末までに75%以上にする。(6年度：73%) 区民モニターアンケートにおいて、「保健福祉や介護に関する相談の場が身近にある、またはその情報を容易に得ることができると思う」と答えた割合を8年度末までに60%以上にする。(6年度：59%) 						
アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	6年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成				前年度実績		
	区民モニターアンケートで「身近な地域福祉活動が活発に行われている」と答えた割合：68.7%				B	68.9%	
	アンケート未実施のため未測定				-	53.6%	

経営課題4 「まちぐるみで子育て」と「多様な学び」を応援するまちづくり						
	4決算額	6百万円	5予算額	46百万円	6予算額	49百万円
課題認識	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化とともに子育て世代の減少や核家族化が進む中で、育児の不安や悩みを相談できずに孤立することがないように、子どもや子育て家庭を地域で見守り応援し、安心して子どもを産み育てることができる環境を充実させる必要がある。 ・子どもたちが自ら学び、考え、表現し、課題を解決できる力を育むため、学校と連携して児童・生徒の学力・体力の向上と、子どもたちの豊かな社会性と将来への夢や希望を育むことが必要である。また、そのための教育環境の向上を図る必要がある。 					
主な戦略 (課題解決の方策)	<p>「まちぐるみで子育て」の応援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低年齢児の保育所入所校の確保 ・地域・企業等の多様な連携による子育て支援の充実 ・気軽に子育ての相談ができる環境の整備 <p>「多様な学び」の応援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの教育環境の向上 ・子どもの学力・体力の向上と「将来の夢や希望」の育成 ・分権型教育行政の推進 					
アウトカム 指標 (経営課題の解決に向けた 進捗割合を示した指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・区民モニターアンケートにおいて、「子育てしやすい」と答えた、子どもを持つ20代～30代の割合を8年度末までに78%以上にする。(6年度：76%) ・区内の小学校・中学校において、全国学力・学習状況調査の「将来の夢や目標を持っている」と肯定的に答えた児童・生徒の割合が全国平均を下回る学校を8年度末までに小学校・中学校とも3校以下にする。(6年度：小学校4校、中学校4校) 					
アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	6年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成			前年度実績		
	区民モニターアンケートで「子育てしやすい」と答えた、子どもを持つ20代～30代の割合：44.1%	B		65.2%		
	全国学力・学習状況調査の「将来の夢や目標を持っている」と肯定的に答えた児童・生徒の割合が全国平均を下回る学校：小学校6校、中学校2校	B		小学校5校 中学校4校		
経営課題5 訪れたい魅力と活気あふれるまちづくり						
	4決算額	3百万円	5予算額	19百万円	6予算額	15百万円
課題認識	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪・関西万博による人の流れを、港区の恒常的なにぎわいにつなげるため、魅力ある地域資源の情報発信と多様な人々との連携協働により、個性と魅力のあるまちづくりや次世代を担う産業創出を推進する必要がある。 					
主な戦略 (課題解決の方策)	<ul style="list-style-type: none"> ・「港区エリア別活性化プラン」に基づく、区内3エリア（東部・中部・西部）の特性に応じた中長期的なまちづくりの推進 ・地域資源を活かしたまちの活性化、魅力の発信 					
アウトカム 指標 (経営課題の解決に向けた 進捗割合を示した指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・区民モニターアンケートにおいて、「港区の3エリア（東部・中部・西部）に魅力を感じる」と回答した割合を8年度末までに80%以上にする。(6年度：76%) 					
アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	6年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成			前年度実績		
	区民モニターアンケートで「港区の3エリア（東部・中部・西部）に魅力を感じる」と回答した割合：55.2%	B		59.3%		

※) 各課題の定量評価について

指標として用いている区民モニターアンケートは、その回答率が対象者の30%を下回っているため、結果に誤差が生じている場合があります。

<p>自己評価 (運営方針全体の定性評価)</p>	<p>【経営課題1について】 新型コロナウイルス感染症の影響で途絶えた地域活動も徐々に再開、運営されているが、身近な地域でのつながりや地域活動の認知度の回復が十分でない状況にあると考えられる。そのため、それぞれの地域実情に応じた支援を継続しつつ、その基盤である「地域活動協議会」等の認知度向上のための広報活動を継続していく。</p>
	<p>【経営課題2について】 防災面では、地域の防災活動の支援を着実に進めてきた。また、大阪・関西万博に向けて、企業等と協力し、外国人向けの防災啓発に精力的に取り組んだ。地域で助け合えると感じる区民の割合は増えたが、目標達成には至らなかった。引き続き、地域の防災活動を支援し、防災活動の参加者を増やす取り組みを支援していく。 防犯面では、警察等と連携してHPやSNSを活用した啓発活動を行ったが、自転車盗やオートバイ盗が増加したことで、昨年度の実績に比べて、街頭犯罪が増えたため、警察等と連携し、防犯啓発を行うなど街頭犯罪を抑止するための取り組みを継続していく。</p>
	<p>【経営課題3について】 だれもが健やかにいきいきと暮らせるまちづくりの実現に向け、各地域における地域福祉活動計画の推進の支援や港区地域福祉計画の再構築、要支援高齢者の見守り、児童虐待の未然防止等に取り組んできた。しかし、「身近な地域福祉活動が活発に行われている」との肯定的意見は前年度より減少し、目標達成に至らなかった。また、要支援者の相談機能充実のため、関係機関や団体との連携を強化し、多様なニーズに対応してきたが、その効果検証のためのアンケートの実施を取りやめたため、達成状況は確認できていない。 直ちに事業効果を発揮することは難しいと考えているが、見守りコーディネーターへの相談人数が増加傾向にあることから、これまでの方策が課題解決に有用とも考えられるため、引き続き、関係機関との連携を強化しながら各相談の場の積極的な周知に取り組んでいく。</p>
	<p>【経営課題4について】 各種子育て支援事業や各種団体によるこども居場所事業等の実施回数は増加しているものの、支援が必要な対象世帯に子育て支援情報が十分周知されている状況に至っていない。したがって、「まちぐるみで子育て」ができる体制づくりに向け、学校園、子ども・子育てプラザ、区社会福祉協議会、各種団体、地域等と連携し、チラシやHP、SNS等を活用して支援が必要な対象世帯に子育て支援情報を的確に情報提供できるよう、継続して取り組んでいく。 「多様な学び」の応援について、子どもたちの「将来の夢や希望」の育成に関する指標では、令和6年度は、小学校で目標を達成できなかった一方で、中学校は目標を上回る形で達成できた。校種ごとに目標の達成状況にばらつきがあることから、全体として未達成と評価している。一方、取組自体は有効と認識しているため、今後、各校種とも目標達成できるよう、引き続き「OSAKAみなと未来教育ネットワーク」などを通じたキャリア教育（出前授業や職場体験等）の支援や、学校再編整備等通じたよりよい教育環境の整備に取り組んでいく。</p>
	<p>【経営課題5について】 区民モニターアンケートによれば、港区には潜在的な魅力があり、多くの方がその魅力を感じているという一方で、その魅力を活かした取り組みがまだ十分ではないとの意見も確認できた。万博の機運を高めつつ、港区の活性化に向けた様々な取り組みを行ってきたが、今後も、「港区エリア別活性化プラン」のもと、各エリアの特色を生かしつつ、公民連携により万博とも連動した取組の実施と情報発信を行い、万博開催によるベイエリアの盛り上がりや港区の活性化につなげていく。</p>
<p>今後の方針</p>	<p>課題解決に向けて、地域活動の推進、防災、防犯、福祉、子育て、教育、まちの魅力発信といった取組みを行ってきたものの、定量評価では全項目が未達成という結果になった。今後も引き続き、各経営課題における認識をもとにした課題解決の方策を着実に実施することで、暮らして楽しい・遊んで楽しい・働いて楽しい「未来と世界にひらくまち・港区」の実現を進めていく。 とりわけ、令和7年度においては、区制100周年の節目と大阪・関西万博開催の機会を活かしてまちの魅力を国内外に発信し、にぎわい創出、地域活性化を図り、将来的な人口増加を目指す。</p>